

(別紙 5)

整理番号 2017M-002  
補助事業名 平成29年度 3Dプリント作業の参画者拡大を目指した技術開発補助事業  
補助事業者名 一般財団法人 機械振興協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

本事業では障害者の「生活の質の向上」への直接的な貢献と、障害者就労の職種を今まで事例の少なかった機械工業に広げることで「機械工業の振興」にも寄与することを目指している。障害者による3Dプリンタ出力サービスの円滑かつ持続的な事業化を実現するため、作業内容の見える化、容易化、簡素化などの複数の技術開発を推進する。それにより、実作業において発生する困難を取り除き、参画者を軽度から重度までの多くの障害者に拡大することを目的としている。

### (2) 実施内容

#### ①平成29年度 3Dプリント作業の参画者拡大を目指した技術開発補助事業

(URL : [http://www.jspmi.or.jp/system/l\\_cont.php?ctid=130301&rid=1232](http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1232))

我が国の少子高齢化に伴う労働人口の減少と膨らみ続ける福祉予算に歯止めをかけるため、総活躍社会の実現が期待されている。本事業はJKA補助事業として、勤労意欲があるにも関わらず職種が限定的かつ低工賃であるため未だ十分な社会参加ができていないと考えられる障害のある人に焦点をあて、先端的なものづくりの現場に障害のある人の活躍の場を創造することによる「生活の質の向上」を目指している。

本事業では3Dプリント出力サービスの仕上げ工程に参画できる障害者層の拡大を目指すため、これまでの検証で作業の難易度や環境、時間の面で負担が確認されていた工程について「見える化」「容易化」「簡素化」の観点で技術開発を行い、試行実験を通じてその有用性や心理的負担の軽減などについて検証を行なった。

## 2 予想される事業実施効果

今後ますます利用拡大が予想される3Dプリンタを活用したものづくりにおいて参画可能な障害者層を拡大することは高付加価値な障害者就労の規模を直接的に拡大することにつながる事業であったと考えられる。また、本事業で開発された各種技術は健常者にとっても利便性の高かったことが実証実験における指導者へのアンケートからも確認できており、3Dプリンタ出力における基盤的な仕上げ技術開発として今後の利活用が期待される。

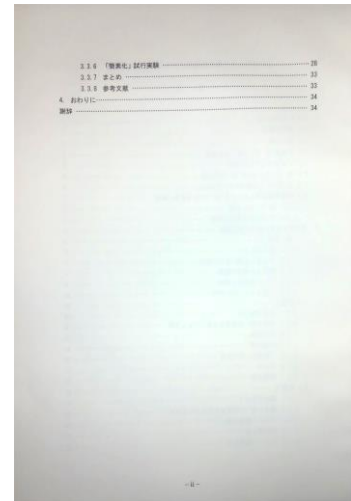
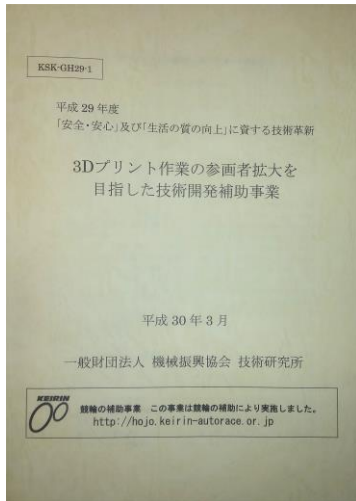
(別紙 5)

### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

##### 3Dプリント作業の参画者拡大を目指した技術開発補助事業

(URL : [http://www.jspmi.or.jp/system/l\\_cont.php?ctid=130301&rid=1232](http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1232))



#### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人機械振興協会

(キカイシンコウキョウカイ)

住所： 〒203-0042

東京都東久留米市八幡町1-1-12

代表者： 会長 釜 和明 (カマ カズアキ)

担当部署： 技術開発センター (ギジュツカイハツセンター)

担当者名： 技術副主幹 藤塚将行 (フジツカ マサユキ)

電話番号： 042-475-1188

F A X： 042-474-1980

E-mail： [fujitsuka@tri.jspmi.or.jp](mailto:fujitsuka@tri.jspmi.or.jp)

U R L： <http://www.jspmi.or.jp/>